

(前ページ下段より続く)
育だけは、断固として阻止してもらいたいと思いま
すね。

町で見たためらいは 何を語るか?

猿渡 日米安全保障条約廢棄にせよ、沖縄返還にせよ、すべては国民のしあわせにつながる
きわめて身近な問題なのに、そのことを本土の
われわれはつかんでいない。それに比べて沖縄
の同胞たちは一人ひとりが、しっかりとつかんで
いた。

阿久津 だが、町の市民の表情は、以前沖縄
に行った人たちから聞いた話の様子と違つて、
歓迎するにもたしかにめらかであった。警笛に
至つては、服装といい、目の光らせ方といい、本
土と何ら違つたところはなかつた。これは向こう
の市民たちが、日米共同声明による七十二年返還
が、かえてそのことによつて沖縄にいとう不
幸をもたらすものだといふことを見抜いていたこ
と、それとも、わが国の支配関係が急速に沖
縄をじのえはじめってきたことを示すことではな
つたうか。

今村 その情勢が反映されて南部の戦蹟が
悲しみをもつらぬかない、華なる觀光地にされて
しまつたとしている。

司会 牛島中将の死を美化はじめた
し。

阿久津 ほんものの沖縄返還を実現しようと
するならば、いまこそ万葉以上の資金をつぎこむ
べきです。

今村 向こうで広島の先生が訴えていた
が、広島で学校教育に使う教育費からさえていま
では原爆の悲惨をうたえる部分がすつかり消さ
れてしまつたといいますからね。

阿久津 せめて南部の戦蹟に立つて、向こう
のバスガイドの説明で戦争の悲惨さをしみじみと
かみしめてひきあけると、こんどはベトナム侵略
のなまざきに血においをかがされる基地を見せ
つけられる。ほんとうに沖縄で戦死した同胞たち
を供養しようと思うならば、アメリカ軍を沖縄から
追つ払い、基地を失くし、そしてあの血にお
いを洗い清める以外にない。

三池の暮らしがそこ にあつた

司会 そういう状態の中でのアメリカの支
配の状況は、一
立山 一言でいえば、基地の中の沖縄があ
るわけで、黒い殺人機がいる墓手納(カデナ)基
地の場合は、断固として阻止してもらいたいと思いま
すね。

地の場合、総面積一千町歩、軍人兵士がその中に
一万七千名。家族まで含めると、一千二百棟のハウ
スに四万人いる。

猿渡 基地の中には映画館が三つ。アメリ
カ人小学校二つ。図書館二つ。幼稚園一つ。パー
ルが四つ。クラブと狩猟場がそれぞれ一つずつ。
野球場とゴルフ場が三つずつ。教会が二つ。銀行
が一つ。診療所が二つ。彼らは、悠々と暮して
いる。

立山 日本人は与えられてくる一一・一セ
ントの土地で、細々と暮さなければならぬ。
井手 向うの人たちの家といえば、ほとん
どがトタン屋根。一歩家の中にはづておどろく
えな。窓らしい窓もさう小さな家ではあった
が。つまり、陽の当たるよい土地はすべてアメリ
カに取り上げられてしまつたから、もともとあの
島の主人公であるはずの向うの人々は、谷あいの
陽の当たらぬ、せまい地域に押し合へてしま
て住まなければならぬわけです。

阿久津 そしてどの家も、まるで人影なし。
古賀 たとえ人がいても、じいちゃん・ば
あちゃん・子どもばかり。

阿久津 家族みんなが生きるために、食つて
ゆくために共稼ぎをしてやられているわけで、三池
のわれわれの生活をそこで見たかった。

司会 それに水も、ガスも、電気も、道路
も、市民生活の基礎条件となる重要企業は、すべ
てアメリカに握られていて、逆にこちが高い金
で買わされている。

今村 向こうの労働者の賃金は、アメリカの
ものが台湾米をもじこんでもうけている。

阿久津 ますい台湾米を食わされてきた。本
土では「余つていい」、「余つていい」といわれて
いる。それらの将来どうなるか、不安が大き
かつた。

今村 たゞは野菜など。米は見んかった
が、うちも見なかつた。

古賀 せんせん見なかつた。

阿久津 ますい台湾米を食わされた。

今村 今年の正月にはじめて、日本からも
ちこまれたモチ米でモチがついて食われたと、向
うのひとたちはよろこんだ。

古賀 漁業もダメ。一隻の漁船も見えん。

阿久津 向こうにぶつたら、新しい魚が食わ
れるかと思っていたところが、魚はすべて本土から
來るかと思っていたところが、魚はすべて本土から
來るかと思ったもんな。

今村 太平洋戦争のため、周辺の魚場がす
っかりやられてしまつたため、せんせん魚が寄り
つかなくなつたらしかですよ。

阿久津 バスガイドから「ここがその名を響
かせた糸満です」と説明受けても、かんじんの船
の影がなかつた。

司会 糸満といえば、昔は小舟をあやつり
て鯨にいどむ勇敢な漁師たちの話で、世界でも有
名な町だったのに。

古賀 アメリカは、沖縄のいのちをまつ殺
したことだつたのに。

今村 アメリカの内部矛盾がコザの町でそ
のまま生じてゐるのを見た。黒人街と白人街との歴
然たる差別。

阿久津 ベトナムでは黒人たちを最前线に押
しやつて戦させておいて、いざ沖縄にひきあげて
くるところとはひどい人種差別。白人兵と黒人兵
のケンカはしょっちゅうで、すごいピストルの撃
ち合いだそうですからな。

一等兵のたつた六分の一。
立山 平均賃金が三万六千円。金重労は幾
分高くて五万円。

阿久津 いくらか高いはずで、仕事が危い兵
器の修理、爆弾の処理など。

今村 それにベトナムゆゑ。

もはや糸満漁師の見る 影もなかつた

司会 産業としては。

立山 タバコ、セメント、ビル。一番大
きいのが砂糖で、これが耕地面積の四分の三を占
めている。それらの将来どうなるか、不安が大き
かつた。

今村 あとは野菜など。米は見んかった
が、うちも見なかつた。

古賀 せんせん見なかつた。

阿久津 ますい台湾米を食わされた。

今村 余つていい、余つていいといわれて
いる。それらの将来どうなるか、不安が大き
かつた。

古賀 せんせん見なかつた。

阿久津 ますい台湾米を食わされた。

今村 今年の正月にはじめて、日本からも
ちこまれたモチ米でモチがついて食われたと、向
うのひとたちはよろこんだ。

古賀 漁業もダメ。一隻の漁船も見えん。

阿久津 向こうにぶつたら、新しい魚が食わ
れるかと思っていたところが、魚はすべて本土から
來るかと思っていたところが、魚はすべて本土から
來るかと思ったもんな。

今村 太平洋戦争のため、周辺の魚場がす
っかりやられてしまつたため、せんせん魚が寄り
つかなくなつたらしかですよ。

阿久津 バスガイドから「ここがその名を響
かせた糸満です」と説明受けても、かんじんの船
の影がなかつた。

司会 糸満といえば、昔は小舟をあやつり
て鯨にいどむ勇敢な漁師たちの話で、世界でも有
名な町だったのに。

古賀 アメリカは、沖縄のいのちをまつ殺
したことだつたのに。

今村 アメリカの内部矛盾がコザの町でそ
のまま生じてゐるのを見た。黒人街と白人街との歴
然たる差別。

阿久津 ベトナムでは黒人たちを最前线に押
しやつて戦させておいて、いざ沖縄にひきあげて
くるところとはひどい人種差別。白人兵と黒人兵
のケンカはしょっちゅうで、すごいピストルの撃
ち合いだそうですからな。

全軍労の前の敵は、ま
さに複雑怪奇

司会 そこで金軍労の闘いについて。

立山 正しくは「全沖縄軍労働組合」とい
って、約百二十のアメリカ軍基地で働いている約
五万五千の基地労働者の闘う組織です。

それが四つのランクに区別され雇用されてい
るわけで、第一種の「米国政府から直接雇用され
ている人」が一万九千人。第三種の「クラブや食
堂など、独立採算制をとっているサービス機関で
働いている運転手など」三百七十人。第四種の「請
負人夫や臨時夫、特免食堂の経営者などとして雇
用された人」約一万人。ほかに廻船やマイド、ハ
ウスボーラーといった人々がいます。思いのまま
に首を切るんですよ。「基地には裁判権も及ば
ない」ということで。

司会 沖縄での支配者の最高は、何といつ
てもアメリカの高等弁務官でしょう。

立山 いや、弁務官の支配は基地以外の地
域だけのことだ。陸軍・海軍・空軍・海兵隊とい
う四つの機関の司令官が、それぞれの基地の支配
者ですから、交渉しようにもあいちこやられござ
いません。やられで、どうんしようもない状態です。

今村 裁判所が三つ——琉球裁判所、米國
民政府裁判所、それに軍法裁判法院。

司会 複雑怪奇だが、さしづめこんどの全
軍労に対する首切り反対で闘う相手はといえど
うなるのかな、安保条約を締結しているから日本
政府かな。

猿渡 いや、安保は二つの政府で結んだわ
けだから、やつぱり敵は二つ。

司会 まだ、沖縄の首切り反対で闘う相手はといえど
うなるのかな、安保条約を締結しているから日本
政府かな。

猿渡 だからといて、この点もまたぐ
三池と同じで、金軍労の闘いの前にほんますぐ明
るい展望が開けていくわけでもないのです。その
中で考えて求める道は、闘う以外になんとうこ
と。

司会 そのおしゃりはもちろんわかりま
せんが、向こうの人たちは銃剣の前に体をそ
らしながら、アメリカ帝国主義とその軍隊と闘い
ているのだから。だが、まだ日本の独立資本その
ものの支配の強さ、悪らしさを知っていない。思
えば、沖縄が返つてくるといふことは、日米支配
團の合作によるもので、いよいよ日本の独立資本
が支配に乗り出していくわけだから、分裂攻撃が
すでに開始されることもあり、向こうの労
働者はこれから大きな試験のものに立たされるこ
とになる。とすれば、いま私たちが向こうの人た
ちに強調したいことは、一日も早く階級的認識を
てもアーティラリーといふ人々がいます。俺たち
は、何のそんでも基地で働くことはない。土地を返
して、生きる権利を取り上げたからこそやむなく
働いているんだ。だから首を切るなら、土地を返
して土地を返せば、自分の手で生きてゆく」。
困難性を伴つてゐるが、しかしまいのち財産
と権利を守らうとする限り、闘う以外にはない

司会 首を切る前に、まず

阿久津 労働者もいっています——俺たち
は、何のそんでも基地で働くことはない。土地を返
して、生きる権利を取り上げたからこそやむなく
働いているんだ。だから首を切るなら、土地を返
して土地を返せば、自分の手で生きてゆく」。
困難性を伴つてゐるが、しかしまいのち財産
と権利を守らうとする限り、闘う以外にはない

司会 私たちが闘いの中やりくり出した
「この闘いは経済的に明るさもなく、非常に
困難性を伴つてゐるが、しかしまいのち財産
と権利を守らうとする限り、闘う以外にはない

司会 事実アメリカのベトナムでの敗北が決定的とな
ったまゝ、つきは台湾、それから韓国と戦線が広
がつたわけだ。それが日米共同声明の裏にあ
る真実なんですから、いまこそ階級闘争にスター
トすべきだ、その点から金軍労の闘いがますます
重要な問題になつてゐるのでよ。

猿渡 だからといて、この点もまたぐ

三池と同じで、金軍労の闘いの前にほんますぐ明
るい展望が開けていくわけでもないのです。その
中で考えて求める道は、闘う以外になんとうこ
と。

司会 だからといて、この点もまたぐ

三池と同じで、金軍労の闘いの前にほんますぐ明
るい展望が開けていく